multi frame™

取扱説明書

輸入代理店
テクノグリーン株式会社
〒530-0015 大阪市北区中崎西１丁目４番２２号 梅田東ビル
ＴＥＬ(06)6371-0104 ＦＡＸ(06)6371-6400

© 2010 R82 A/S. All rights reserved.
The R82 logo and the Multi Frame are registered trademarks of R82 A/S.

04.2012

目次

＜安全性＞..4
＜保証規定＞......................................4
＜付属工具＞......................................4
＜ご使用前の準備＞................................5
＜プッシュ･ブレス
調節＞..6
＜プッシュ･ハンドル調節＞........................7
＜転倒防止バー＞..................................7
＜高さ調節＞......................................8
＜角度調節/ティルトリクライニング＞..............9
＜ガス・スプリング調整＞.........................10
＜重心位置設定＞.................................11
＜折りたたみ方法＞...............................12
＜タックル・ブレーキ＞...........................13
＜クイック･リリース機構＞.......................14
＜ドラム・ブレーキ＞.............................15
＜ドラム･ブレーキKIT取付方法＞..................16
＜車輪＞...17
＜x:Panda/Panda Futura シート
取付方法 ①＞....................................18
＜x:Panda/Panda Futura シート
取付方法 ②＞....................................19
＜バック･フィッティング取付方法＊お車でPanda Futura付
（サイズ３・４）Multiフレームをご使用時＞........19
＜x:Panda/Panda Futura シート
取付方法 ③＞....................................20
＜シート・フレームサイズ＞.......................21
＜フットレスト＞.................................22
＜サンダル式
フットレスト＞...................................23
＜x:Panda用サンダル式フットレスト＞..............24
＜スポーク･カバー＞..............................25
＜荷物台＞.......................................26
＜お車でのご移動＞...............................27
＜車載用固定金具＞...............................28
＜お車での安全なご移動のために＞.................29
＜製品識別＞.....................................30
＜寸法表＞.......................................31
＜テクニカルデーター＞...........................32
＜製造元＞.......................................32
＜販売店＞.......................................32
＜点検・修理＞...................................33
＜お困りのときは＞...............................34

U.S. Patent Des. D588,051 S
Norwegian Design Reg. No. 80196
Pat. Pend.

JP ＜MULTI フレーム＞

この度は、Multiフレームをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品（デンマークR82社製）は、皆様のご期待に添えるものと確信しております。

本製品は、お子様・成人用にご使用いただけますスマートでシンプルなデザインの車いすです。

この取扱説明書は、本製品の持つ特徴をより良くご理解いただくために、正しい取扱いについて説明してあります。ご使用前に良くお読みいただきますようお願いいたします。尚、内容・仕様等は予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

JP ＜安全性＞

Multiフレームは CEマーク商品です。これはヨーロッパの安全規格を満たしていることを証明しております。また本製品はISO７１７６－１５/１９ EN１２１８２ EN１２１８３取扱説明書はISO７１７６－１５ １６８４０－４の認証を受けております。

本製品は、日常のご使用状態において5年の耐久性があります。以降のご使用の際は、一度お買い上げいただきました販売店でメンテナンスをお受けいただくことをお薦めします。

本製品を改造、またはR82社製純正部品以外の部品を使用された場合は、このCEマークを取外してください。

本製品をご使用の際には、必ず保護者の方が付き添ってください。 また大人の方が管理するようにしてください。 誤ったご使用方法は、お怪我や事故を引き起こす可能性があります。 ご使用前に、製品にベルト等しっかり固定されているか確認してください。

整地でご使用ください。製品も持って走らないでください。

Multiフレームは一人乗りです。二人以上乗らないでください。

取扱説明書の最新版は下記のホームページからもご覧いただけます。

JP ＜保証規定＞

フレームは製造上の不良に対して2年間、溶接の不良により発生したメタルフレームの破損に対しては5年間の品質保証がなされています。但し、この取扱説明書に記載されている正しいご使用方法をお守りいただき、（お客様の責任において）定期的なメンテナンスを受けられていることを前提としております。
お客様の過失なく、ご購入いただいた国でのご使用かつ製造番号の確認がとれた場合のみ保証が有効となります。
またこの品質保証は、本製品の構成部品の修理又は交換に限定されるもので、その欠陥に付随して起こる又は結果として起こる損害を担保とするものではありません。これは最初の原購入者に限定されます。万一、この保証に基づいて構成部品に欠陥が発見された時は、弊社の選択によりその部品を修理するか交換するかを決定し、無償にてこれを行います。
この保証はR82社製の純正部品が使用されている場合のみ有効で、認定の受けていない業者による修理等で起きた損害や怪我は保証の対象外です。
弊社は保証同意前に、その製品又は関連する書類を検査する権利を有しております。

JP ＜付属工具＞

本製品には４ｍｍ５ｍｍ６ｍｍのレンチの入った工具袋が標準装備されております。本取扱説明書に書かれている調節につきましては付属工具をご使用ください。

JP ＜ご使用前の準備＞

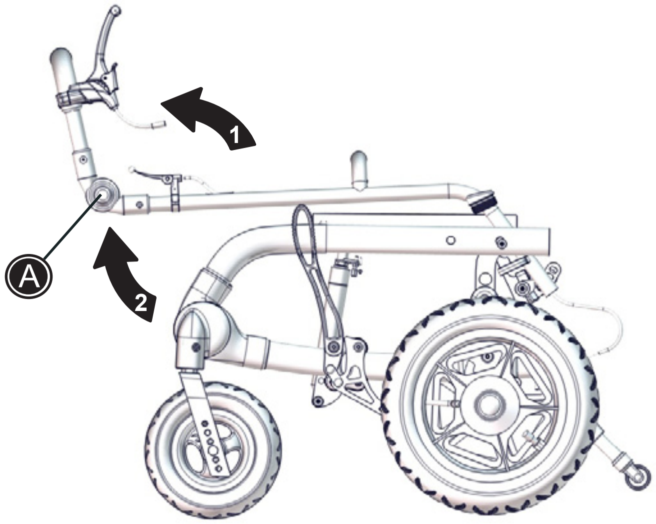
Multiフレームは折りたたんだ状態でお届けされますが簡単に組立てることができます。

1) ハンドル両サイドのボタン(A)を押してプッシュ･ブレスを開いてください。

2) プッシュ･ブレスを引上げることにより組み立てることができます。安全ロック(B)がフレームに固定されているか確認してください。（ロックされると“カチッ”と音がなります)

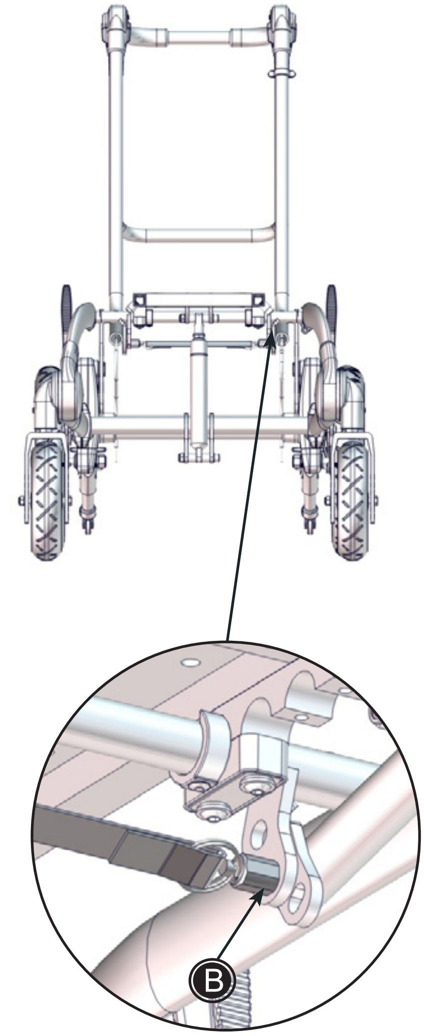
3) ハンドル両サイドのボタン(A)を押してプッシュ･ブレスの角度調節を行ってください･

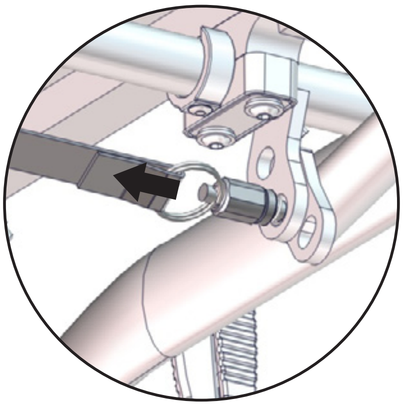
これでご使用いただける状態になります。

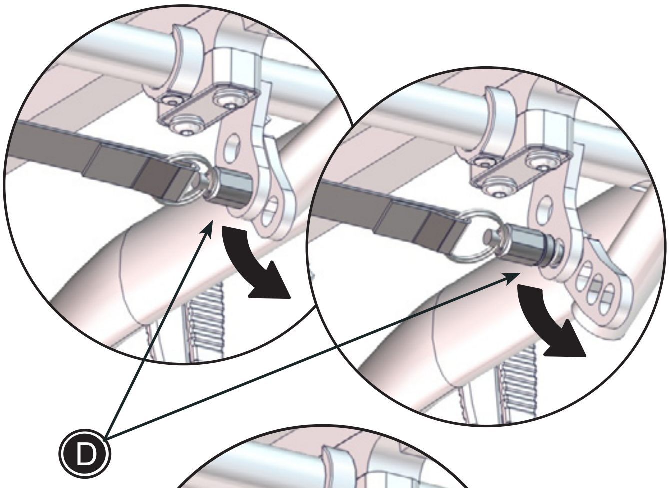


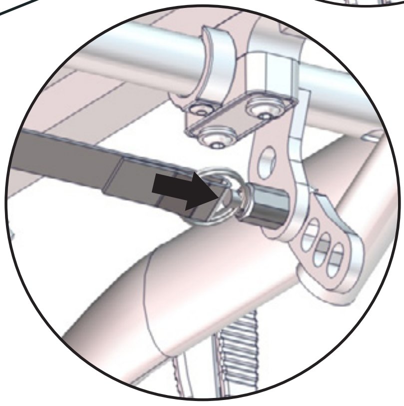
⚠ ご使用前に安全ロック(B)が完全に固定されているか確認してください。

⚠ フレームを組立るさいは指を挟まないようご注意ください。









JP ＜プッシュ･ブレス調節＞

プッシュ･ブレスは、リクライニング時にシートに緩衝しない様、4段階で調節が可能です。.

1) フレーム下のストラップ (A)を引いてロックを解除し、ご希望の位置にセットしてください。.

2) プッシュ･ブレスをご希望の位置にセットされましたら、ストラップから手を離して、ロックピン (D)を固定プレートに入れてください。(完全にロックされると”カチッ”と音が鳴ります).

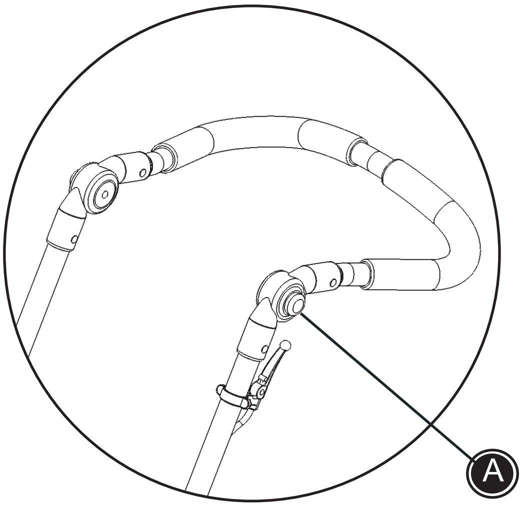
> ⚠ ご使用前にロックピン(D)が両サイドに完全に固定されているか確認してください。

> ⚠ 階段・プラットフォーム・縁等でプッシュ･ブレスを使っての上げ下げは行わないでください。またフレームを持上げるためにプッシュ･ブレスを使用しないでください。

JP ＜プッシュ・ハンドル調節＞

プッシュ・ハンドルは簡単に角度・高さ調節が行えます。

1) 両サイドのボタン(A)を押してください。
2) 上下ご希望の位置になるようにハンドルを動かしてください。。
3) ご希望の位置が決まりましたらボタン(A)を離してください。



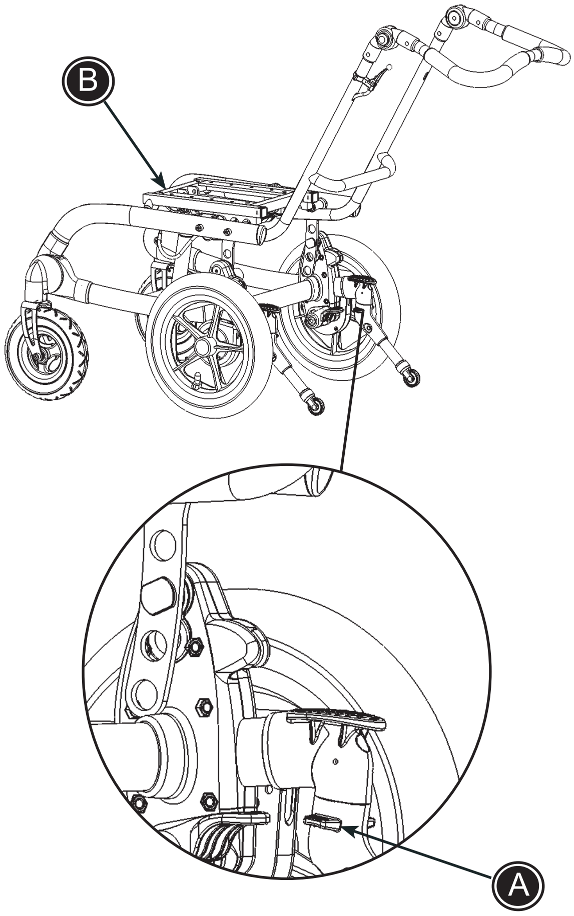
> 階段・プラットフォーム。縁等での上げ下げでプッシュ・ハンドルを使用使用しないでください。シートを持上げる際は二人で行ってください。椅子を持上げる際プッシュ・ブレスを使用しないでください。

> プッシュ・ハンドルの角度調節を行う際は指を挟まないようご注意ください。

JP ＜転倒防止バー＞

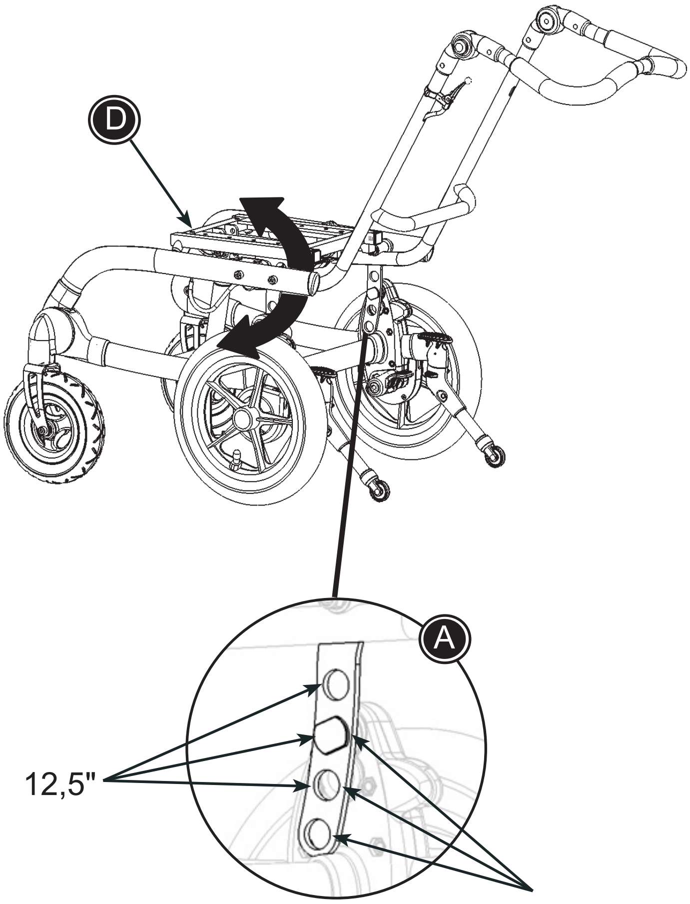
転倒防止バーはシート下・フレーム後方に標準装備されております。

ペダル(A)を足で踏んで転倒防止バーをセットしてください。ご使用にならない場合は再度ペダルを踏んで180度回転させて戻してください。



> 20度以上の傾斜又はティルトリクライニングをご使用の際は必ず転倒防止バーをセットしてください。

> 転倒防止バーが機能しているか定期的に確認してください。



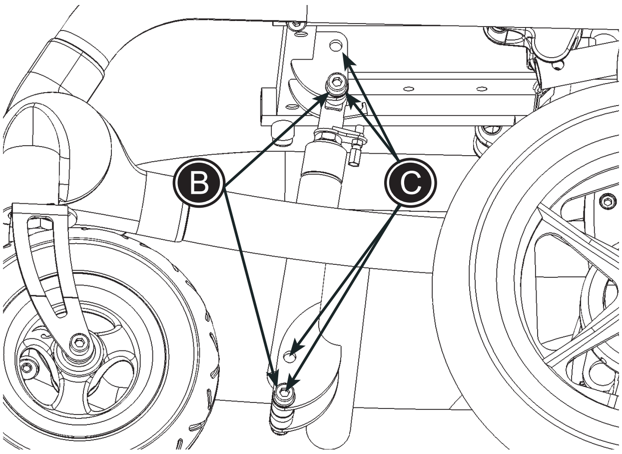
JP ＜高さ調節＞

設定部品(A)とガスダンパーの位置を調節することによりフレームの高さ調節を行うことができます。

12インチ後輪を使用される際は、設定部品(A)の上から3つ目までの穴の範囲で調節することができます。(図A参照)

22インチ後輪を使用される際は、設定部品(A)の下から3つ目までの穴の範囲で調節することができます。(図A参照)

下記の手順に従って調節してください。
1. フレーム両サイドの設定部品(A)のボルトを外してください。
2. フレーム上部をゆっくりと上げ下げすることによりご希望の高さに調節することができます。
3. 再度ボルトを取付けてください。
4. ガスダンパーは下に下げた時、フレームが水平になるように調節してください。6mmレンチと13mmレンチをしようしてボルトを外してください。フレームが水平な位置にセットされるように4つの穴(C)いづれかを使用し再度ボルトを取付けてください。



⚠ ガスダンパーは下に下げた時、フレーム(D)は必ず水平になるように取付けてください。

⚠ フレームの高さは左右均等になるように調節してください。

⚠ 高さ調節を行った際は重心位置が変わることにご注意ください。

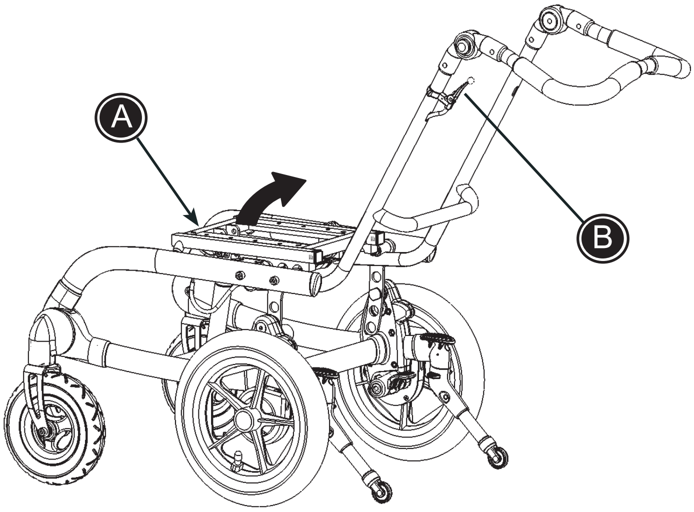
⚠ お子様がシートに乗ったままでの設定変更は行わないでください。

JP ＜角度調節/ティルトリクライニング＞

フレームはティルトリクライニング機構が装備されております。

レバー(B)を操作しプッシュ･ブレスを使うことにより後方にティルトリクライニングが行えます。ご希望の位置になるまでレバー(B)を押してください。

レバー(B)を引上げながら、フレームを前方に傾けると水平の角度に戻すことができます。角度調節可動範囲の中では無断階で調節することが可能です。（ご希望の位置でレバー(B)を離せば止まります。）



> フレームの角度調節を行うと重心位置が変わりますので、フレームの安定性を保つためにシートを前後に調節する必要があります。

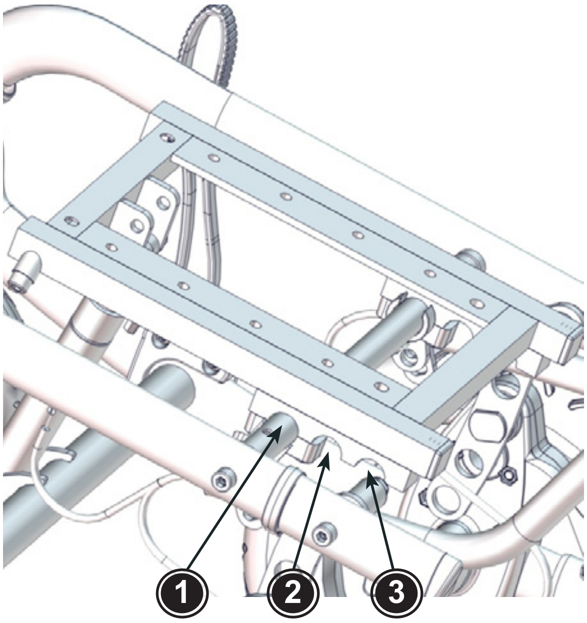
> 必要に応じ、フレームの角度によって、プッシュ･ブレスの角度を変えてください。

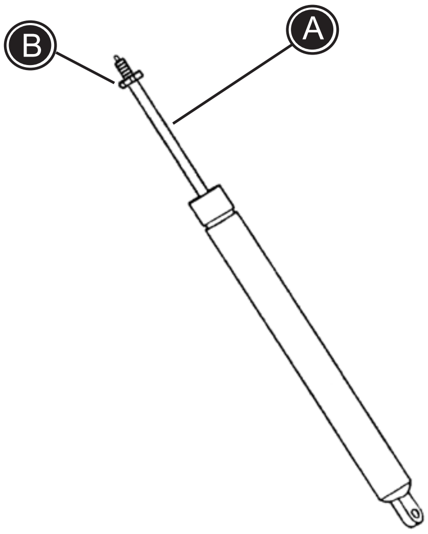
> ティルトリクライニングをご使用の場合は、必ず転倒防止バーをセットしてください。

フレームの角度は、ベースフレームの設定位置によって異なります。.

ベースフレームの設定位置を変えることでシートの重心位置を調整することができます。(３設定)

設定１角度：0°～40°
設定２角度：0°～35°
設定３角度：0°～30°





JP ＜ガス・スプリング調整＞

ガス・スプリングの調整が必要な際は、下記の手順に従って行ってください。

- ー ガス･スプリングが自然に下がってくる。（ティルト角度が自然に下がってくる）
- ー ガス・スプリングが全く動かない。（ティルト角度の調節ができない。）

ガス･スプリングが自然に下がってくる場合：17mmのスパナでナット(B)を緩め、バイスプライヤー等でピストン棒(A)を座面側から見て反時計回りに回してください。最後にナット(B)を締めてください。(回す量は確認しながら行ってください。)

ガス・スプリングが全く動かない場合：17mmのスパナでナット(B)を緩め、バイスプライヤー等でピストン棒(A)を座面側から見て時計回りに回してください。最後にナット(B)を締めてください。(回す量は確認しながら行ってください。)

⚠ ガス・スプリングには圧をかけたり、高温にさらしたり、穴をあけたりしないでください。

⚠ ピストン棒を傷つけないでください。ガス･スプリングを工具で調整する際は、傷つけないよう布などをご使用ください。

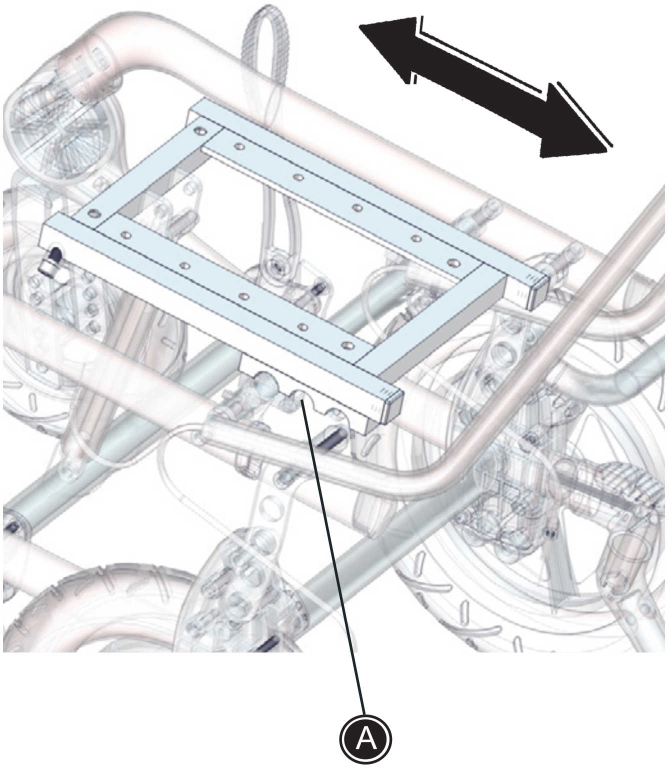
JP ＜重心位置設定＞

本製品は、ベース・フレームの移動及び、アタッチメントの変更により、重心の位置変更が可能です。

ベース・フレームは、3つのポジションから選択できます。

ベース・フレームの変更：
1) 4mmレンチにて、2つのネジを緩めベース・フレーム固定具(A)を取外してください。(固定具は両サイド外してください。)
2) 前後お好みの位置にベース･フレームを設定してください。
3) 再びネジを締めて固定してください。

アタッチメントの変更：
18ページ＜x:Panda/Panda Futuraシート取付方法＞をご参照ください。



重心位置の設定は、後方転倒の防止・安定走行のため、大変重要な調整です。

重心位置の調整は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

全てのネジがしっかりと締まっているか、必ずご確認ください。特に、重心位置の調整を行った後は、必ずご確認ください。

より安全にご使用いただくために、転倒防止バーのセッティングをお薦めします。

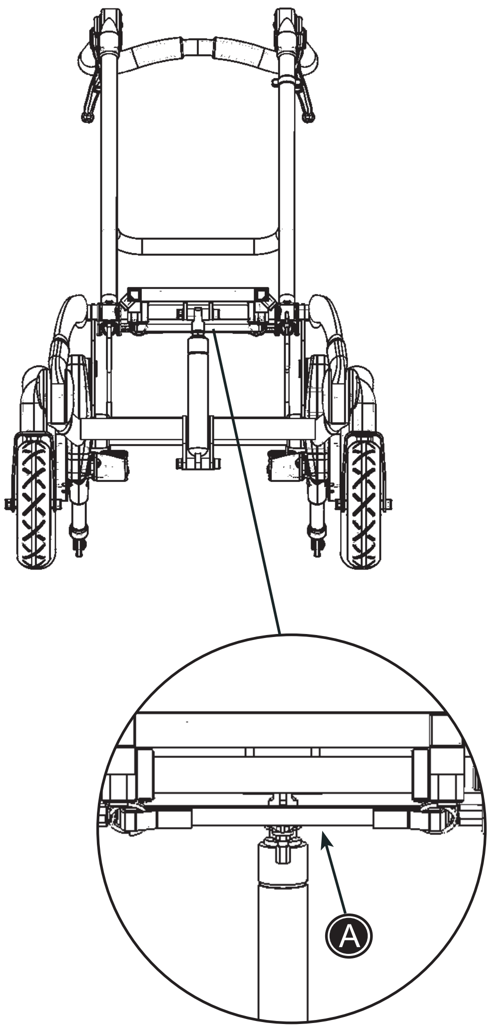
JP ＜折りたたみ方法＞

本製品のプッシュ･ブレス（押手）は、折りたたむことが可能です。

折りたたみ方：
1) シートを取外してください。

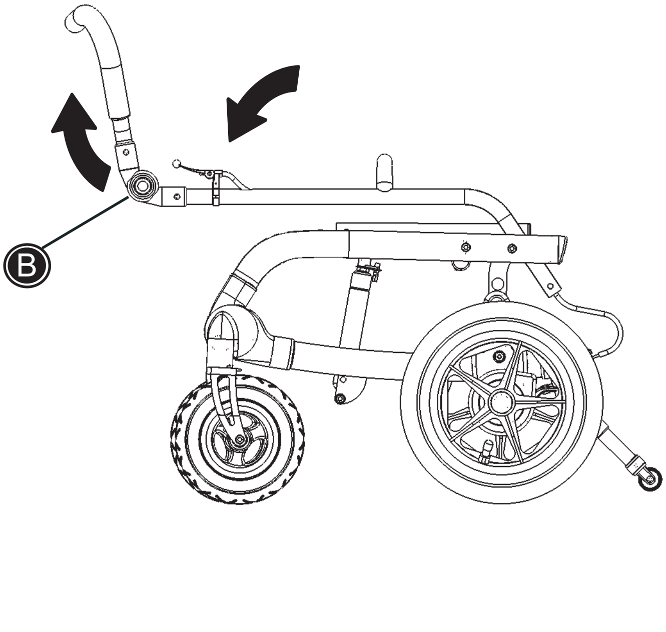
2) ベース･フレーム下部の背後にあるヒモ(A)を引張ることにより、プッシュ･ブレスの固定が外れ、前方に折りたたむことが可能です。

3) 両サイドのボタン(B)を押すことで、角度が変わり、よりコンパクトに折りたたむことが可能です。



<u>組立て方：</u>
5ページ＜ご使用前の準備＞をご参照ください。

> ⚠ 本製品を折りたたむ際、フレームに手を挟み込まないようご注意ください。



JP ＜タックル・ブレーキ＞

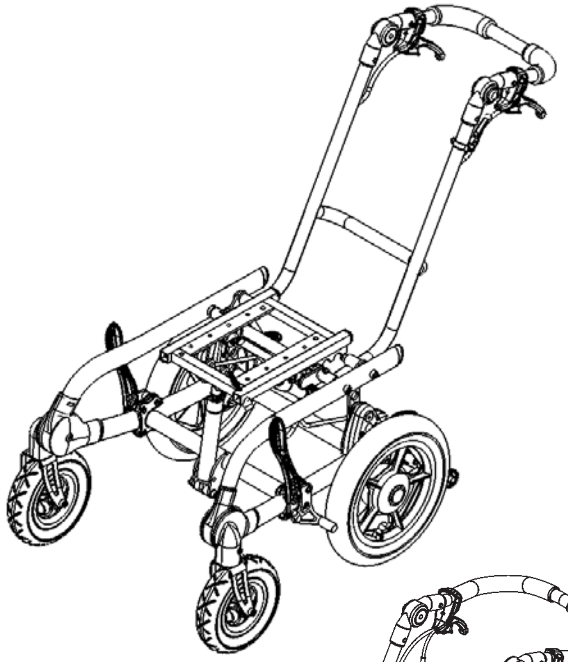
タックル･ブレーキはフレーム本体に標準装備されております。ご利用者または介助者の方が操作することが可能です。

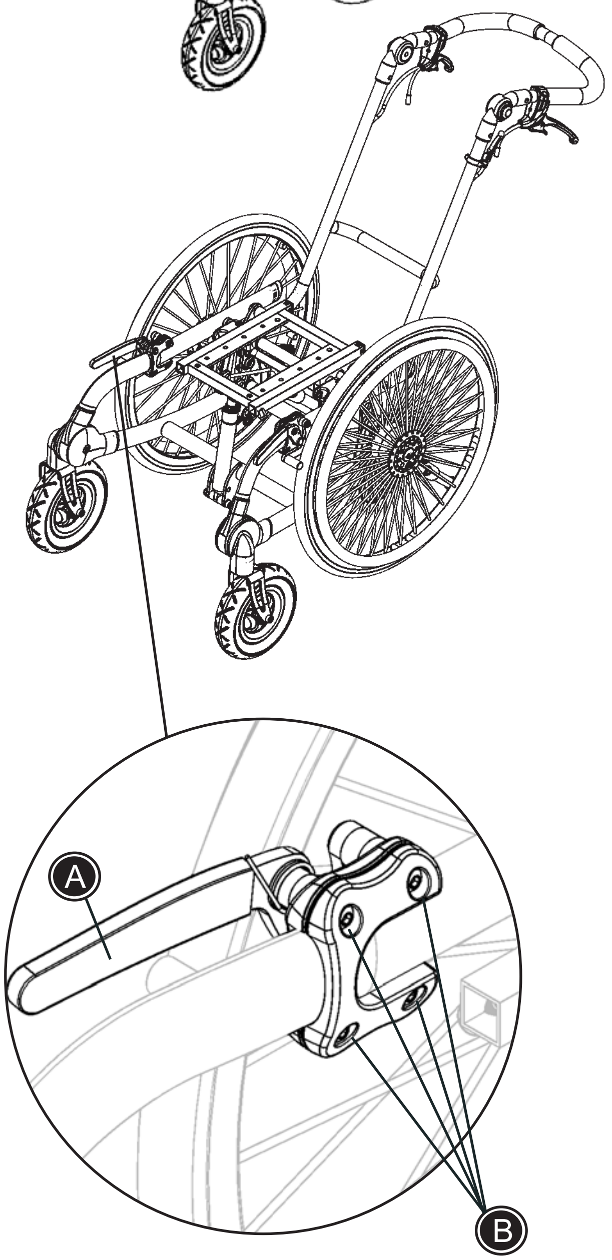
ロック方法：
ハンドル(A)を前方に押すと車輪にロックがかかります。

ロック解除方法：
ハンドル(A)を後方に引くと車輪のロックが解除されます。

タックル･ブレーキの位置は前後に調節できますので、車輪の大きさやブレーキの効き具合に合わせ調整してください。

調節は、付属の4mmレンチにて、ネジ(B)を緩め、ご希望の位置でネジをしっかり締めてください。



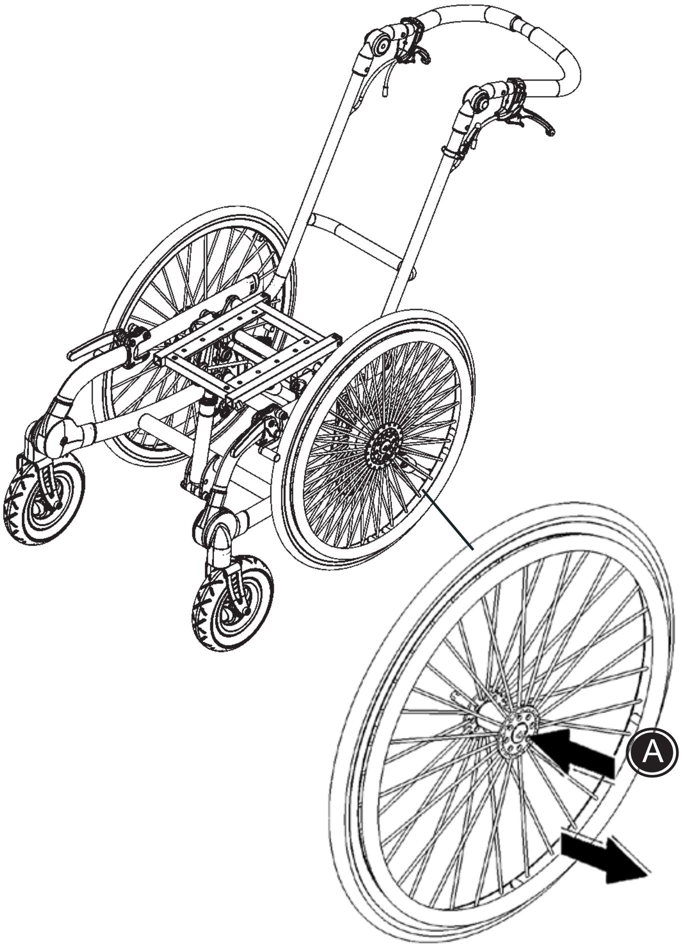


⚠ タックル･ブレーキを操作する時は、必ず両輪を留めてください。

⚠ 正常なブレーキ作動のため、定期点検を実施してください。

⚠ ブレーキ機能の維持のため、後輪車輪の空気はタイヤサイズに適した空気圧に保たれることをお薦めします。

⚠ 安全にご使用いただくために、車輪とブレーキの間は8～10mmあけてください。



JP

＜クイック･リリース機構＞

本製品の22インチ後輪車輪は、クイック･リリース機構（標準装備）によりワン･タッチで車輪が簡単に脱着します。

車輪中央の脱着ボタン(A)を押しながら車輪の取付け/取外しがおこなえます。

⚠	車輪を取付ける場合は、脱着ボタンを押しながらロックを解除し、車輪を取付けてください。

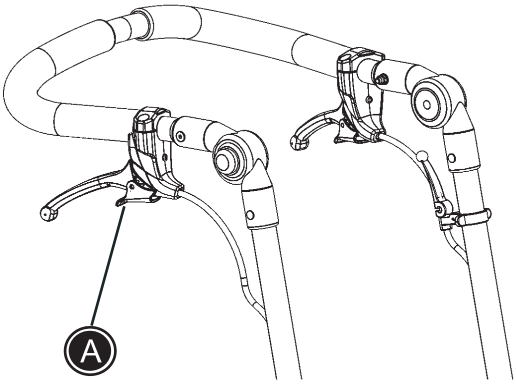
⚠	車輪を取付後は、脱着ボタンのロック・ピンが正しい位置に戻り、車輪が固定されているか（外れないか）、必ず確認してください。

JP ＜ドラム・ブレーキ＞

ドラム･ブレーキは、介助者の手元のハンドルで、ブレーキ操作が可能です。

ハンドルを握るとブレーキがかかります。

ハンドルを握った状態で、赤いレバー(A)を引くと、ブレーキが解除されます。

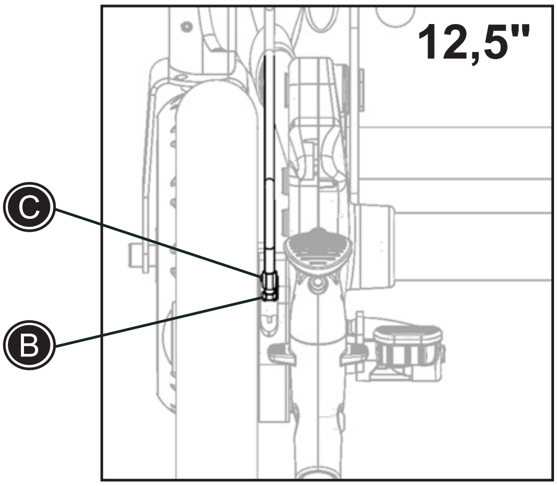


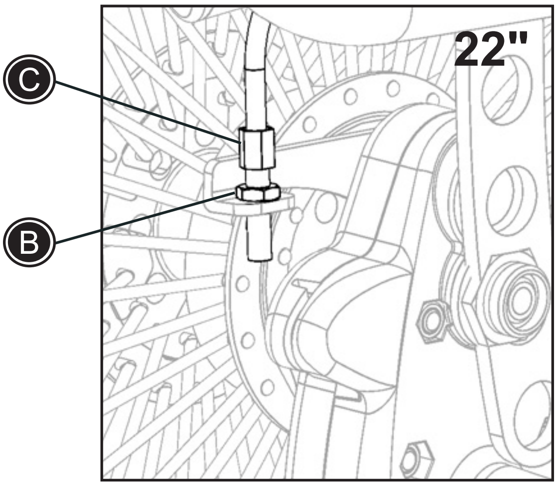
ドラム･ブレーキ調整方法：
下記の調整により、ブレーキの効き具合を調節できます。

1) 8mmスパナにて、(B)ナットを緩めてください。

2) (C)部品を回すことにより、ブレーキワイヤーの張り調節がおこなえます。(ブレーキの効き具合を調節できます)

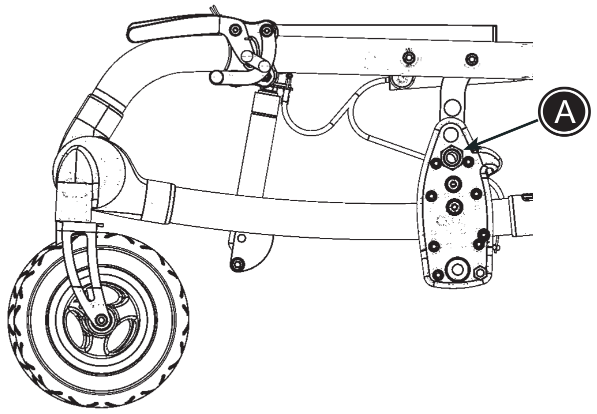
3) 調節後、再度ナットを締めてください。



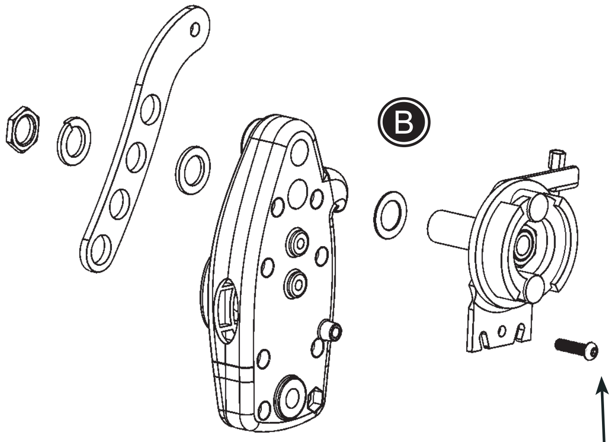


JP

＜ドラム･ブレーキ KIT取付方法＞



下記の手順にて、ドラム･ブレーキKITを取付けることが可能です。



1) クイック･リリース機構により後輪車輪を取外してください。

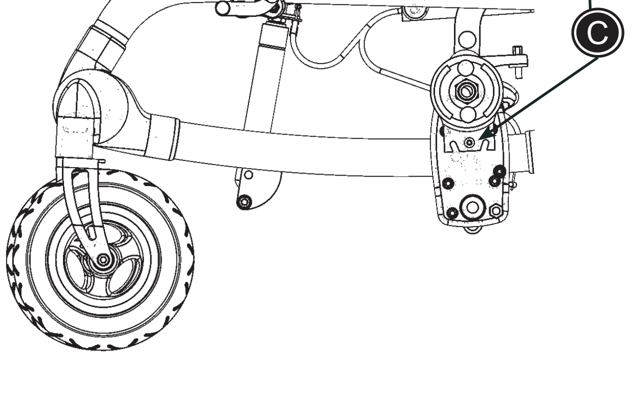
2) 24mmスパナにて、(A)クイック･リリース軸を取外してください。

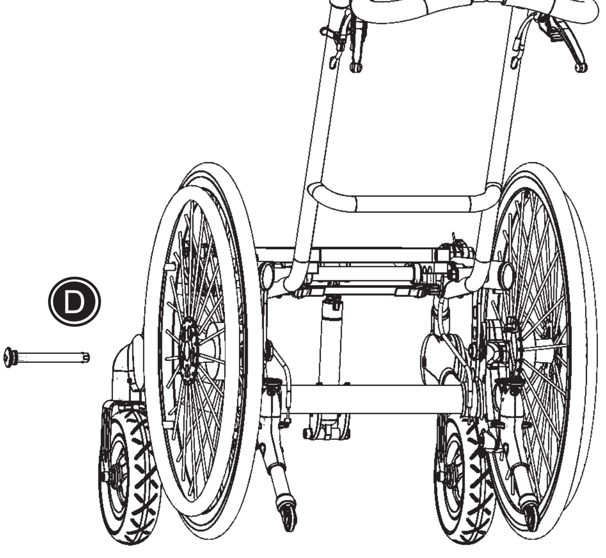
3) ドラム･ブレーキパットを取付けるにあたり、同梱されているナット・ワッシャーを図(B)の順番にて取付けてください。

4) 4mmレンチにて、(C)ネジを締め、ドラム･ブレーキパットを固定してください。

5) ドラム･ブレーキ用22″車輪をクイック･リリース軸にて取付けます。

上記は両後輪ともおこなってください。

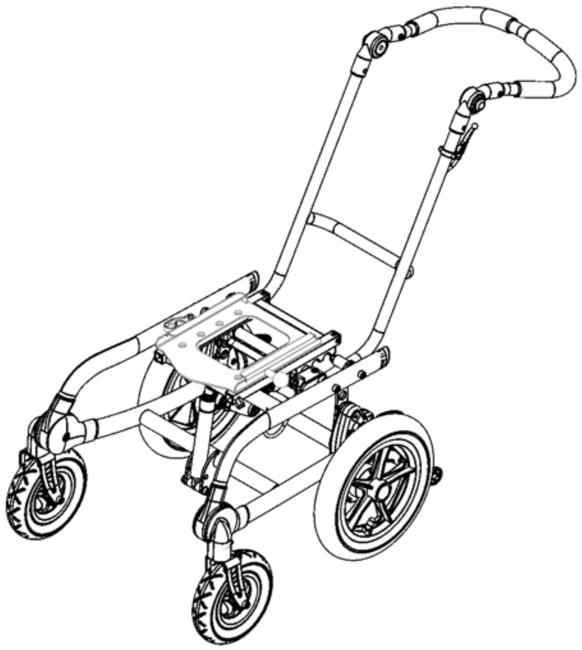




R82®

JP ＜車輪＞

前輪・後輪タイヤチャート表				
	タイヤ幅	タイヤ種類	推奨空気圧	備考
前輪	51 mm（2″）	エアー	2,5 bar	
後輪	60 mm（2¼″）	エアー	2,5 bar	
前輪	30 mm（1¼″）	ソリッド	-	ノーパンク
後輪	60 mm（2¼″）	ソリッド	-	ノーパンク
前輪	45 mm（1¾″）	エアー	2,5 bar	
後輪	30 mm（1¼″）	エアー	3,8 bar	
前輪	45 mm（1¾″）	ソリッド	-	ノーパンク
後輪	30 mm（1¼″）	ソリッド	-	ノーパンク



JP ＜X:PANDA/PANDA FUTURA シート取付方法 ①＞

専用アタッチメントの取付けにより、x:Panda/Panda Futuraのシートをmulti Frameに搭載することが可能です。

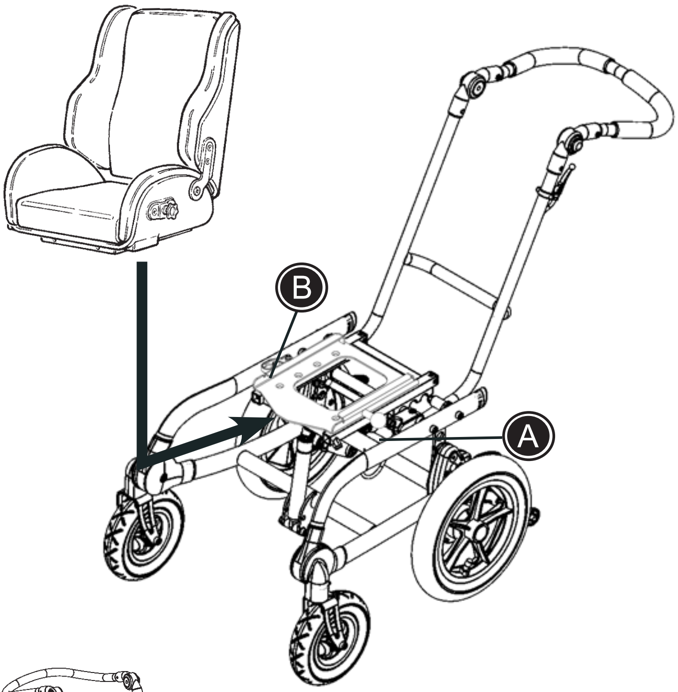
1. x:Pandaまたは、Panda Futura用のアタッチメントを選択し、適切な重心位置に設定してください。

2. 4mmレンチと10mmスパナにて、ボルト(同梱部品)を上から差込み、ベース・フレームの下からナットで固定します。

⚠ 重心位置の設定は、後方転倒の防止、安定走行の実現のため、大変重要な調整です。

⚠ アタッチメントがしっかり取付いていることを、各種シートを取付ける前にご確認ください。

JP ＜X:PANDA/PANDA FUTURA シート取付方法 ②＞

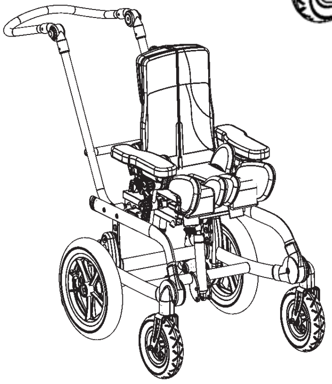


下記の手順にてx:Panda/Panda Futuraシートを本製品に取付けてください。
シートをアダプターにスライドさせ、「カチッ」と音がするまでシートを奥に入れてください。最初の穴で「カチッ」と音がしますが、緑色のノブ(A)を引き、更にシートを奥にスライドさせて、2つ目の「カチッ」と音するまでシートを奥まで入れてください。最後に、赤いハンドル(B)をフレーム後方に180°引き、ロックしてください。

> ⚠ シートの取付の際、必ず2つ目の「カチッ」と音がするまでシート入れてください。1つ目の穴でシートが「カチッ」と音がしますが、決して、そのままの状態で使用しないでください。これは、シート脱落防止のための安全ロックです。

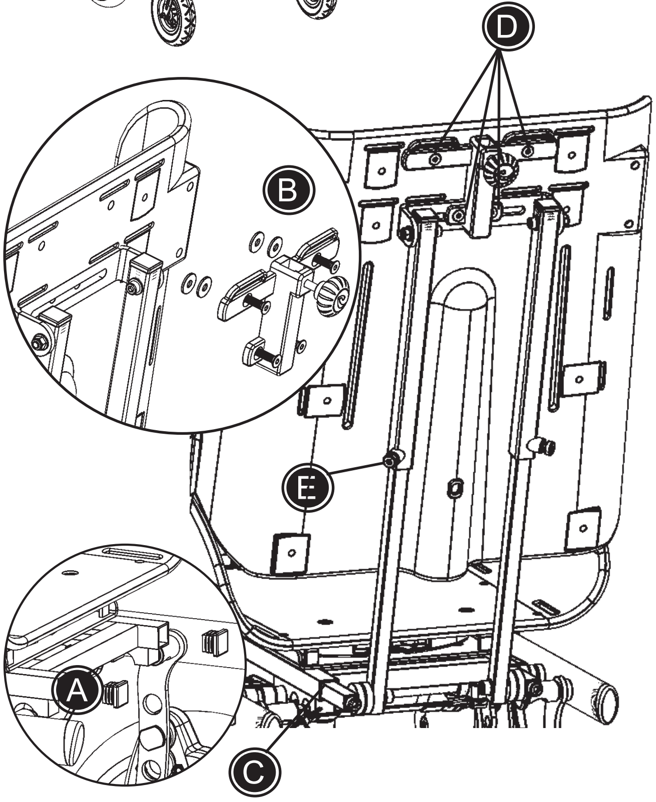
> ⚠ お子様を椅子に乗せる前には、シートがしっかり固定されているかご確認ください。

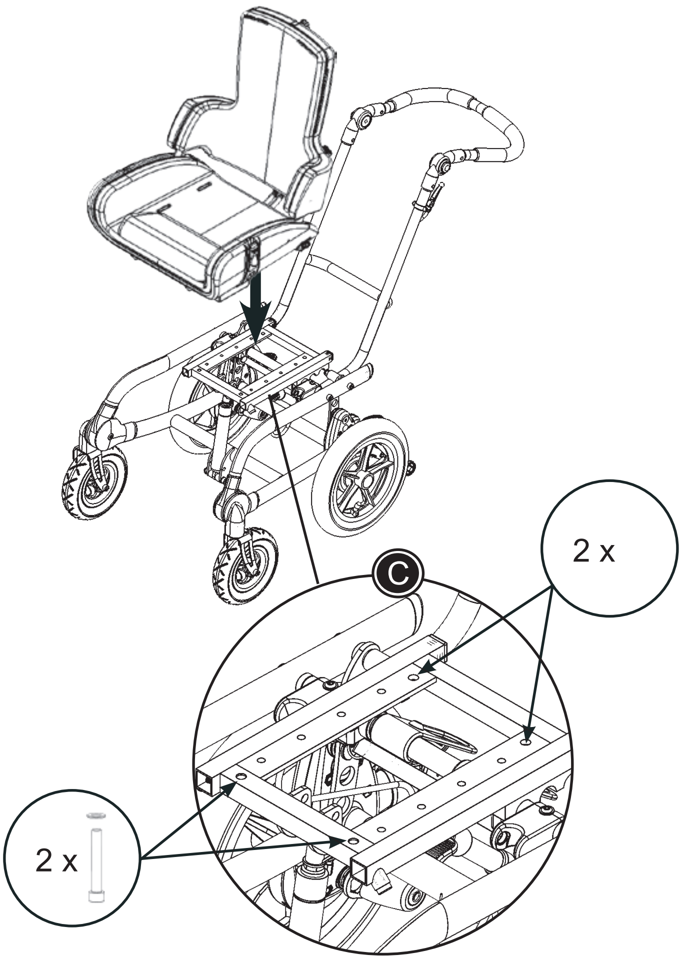
> ⚠ シートの脱着の際は、手を挟まないようご注意ください。



JP ＜バック・フィッティング取付方法＊お車でPANDA FUTURA付（サイズ３・４）MULTIフレームをご使用時＞

1. フレーム後部のプラスティックキャップ（A)を外してください。
2. ヘッド･サポート受け部品（B)を外してください。
3. バック･フィッティングをフレームにスライドさせて締めてください。（C） 付属のネジ・ワッシャー（D)（各４ヶ）を使って、シート背面にバック･フィッティング（上側）を、ヘッド･サポート受け部品（B)とともに取付けてください。 最後に高さを調整し、ボルト（E)を締めてください。
4. 正しい位置に取付後、全てのネジが締まっているか確認してください。





JP

＜X:PANDA/PANDA FUTURA シート取付方法 ③＞

x:Pandaシートサイズ３とPanda Futuraシート・サイズ5を本製品に据付にて搭載する場合は、アタッチメントを使用せず、(同梱部品ボルトｘ4ケ、ワッシャーｘ4ケ、6mmレンチにて)直接固定してください。

シートをフレームに乗せ、前後各２箇所をボルトにて固定します。(ボルトの長さは２種類)短いボルトを前方部分に、長いボルトを後方部分の取付けにしようしてください。

ボルトの締めすぎに注意してください。

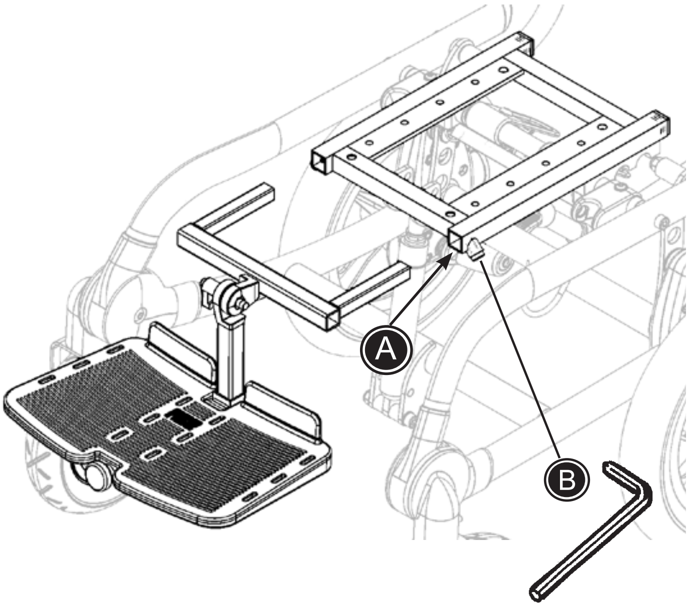
お子様を椅子に乗せる前には、シートがしっかり固定されているか、ご確認ください。

JP ＜シート・フレームサイズ＞

フレーム / シート	Multi Frame サイズ 1	Multi Frame サイズ 2	Multi Frame サイズ 3
Panda Futura サイズ 1	●	○	○
Panda Futura サイズ 2	●	○	○
Panda Futura サイズ 2½		●	○
Panda Futura サイズ 3		●	○
Panda Futura サイズ 4			●
Panda Futura サイズ 5*			●
x:panda サイズ 1 - S	●	○	○
x:panda サイズ 1 - M	●	○	○
x:panda サイズ 1 - L	●	○	○
x:panda サイズ 2 - S	●	●	○
x:panda サイズ 2 - M	●	●	○
x:panda サイズ 2 - L	●	●	○
x:panda サイズ 3 - S*		●	●
x:panda サイズ 3 - M*		●	●
x:panda サイズ 3 - L*		●	●

● 推奨
○ 取付可

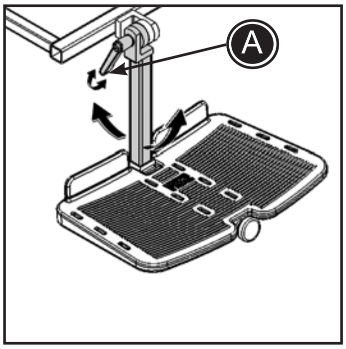
＊上記シートはアタッチメントを使用せず直接フレームに取付けることができます。

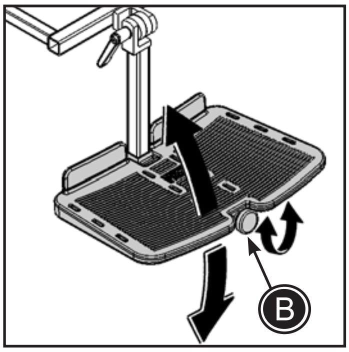


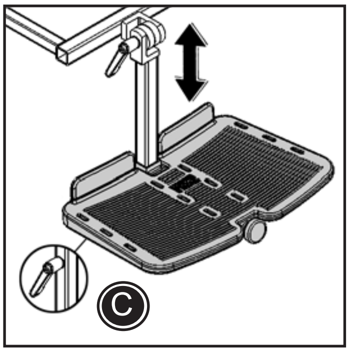
JP ＜フットレスト＞

取付方法：
5mmレンチにて、(B)ネジを緩め、アタッチメントの(A)差込口にフットレスト・バーを差込んだ後、再度(B)ネジを固定してください。

フットレストの取付の際、手を挟まないよう注意してください。







各部調節方法
膝関節角度調節：
調節用グリップ(A)を緩め、角度調節を行ってください。

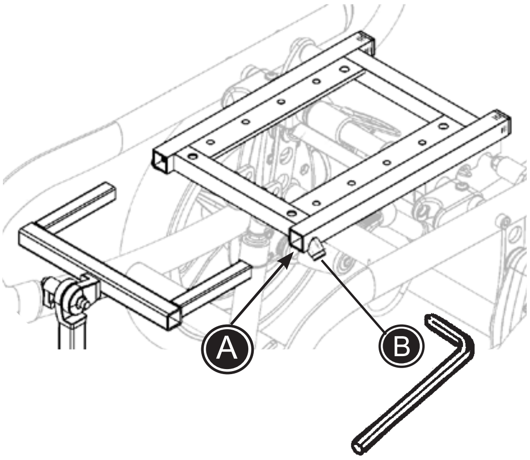
足関節角度調節
フットレスト先端部の調節用ノブ(B)を回し、角度調節を行ってください。

フットレスト高さ調節：
フットレスト下部の調節用ハンドル付ボルト(C)を緩め、高さ調節を行ってください。

フットレストを踏み台として、ご使用にならないでください。

JP ＜サンダル式フットレスト＞

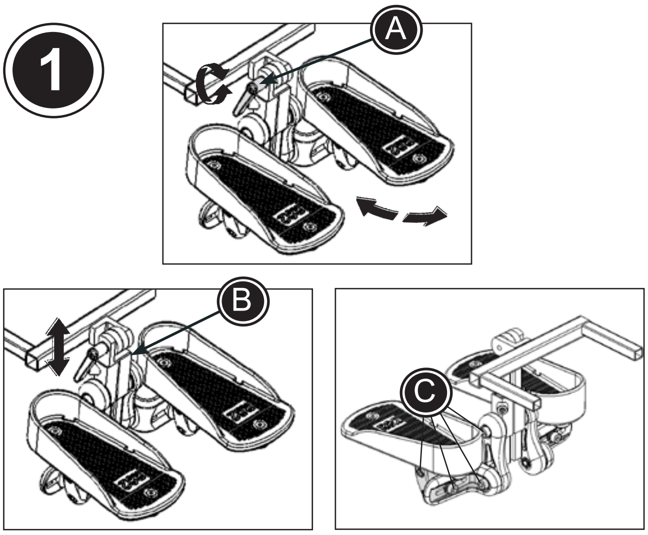
取付方法：
5mmレンチにて、(B)を緩め、アタッチメントの(A)差込口にフットレスト・バーを差込んだ後、再度(B)ネジを固定してください。



各部調節方法①
膝関節角度調節：
調節用グリップ(A)を緩め、角度調節を行ってください。

フットレスト高さ調節
6mmレンチにて、調節用ネジ(B)を緩め、高さ調節を行ってください。

足関節角度・幅・奥行き調節：
調節用ネジ(C)を緩め、角度・幅・奥行き調節を行ってください。

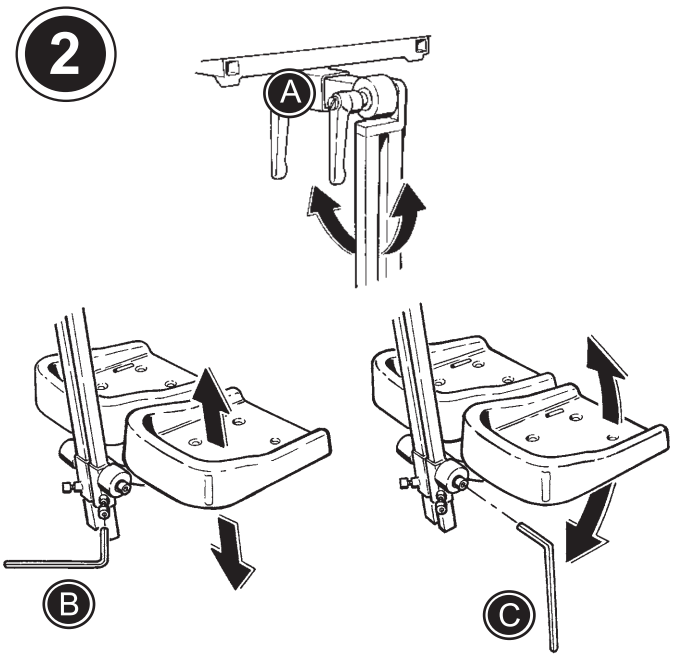


各部調節方法②

A) 調節用グリップ(A)を緩め、角度調節を行ってください。

B) フットレスト高さ調節
6mmレンチにて、調節用ネジ(B)を緩め、高さ調節を行ってください。

C) 足関節角度調節
6mmレンチにて、調節用ネジ(C)を緩め、角度調節を行ってください。



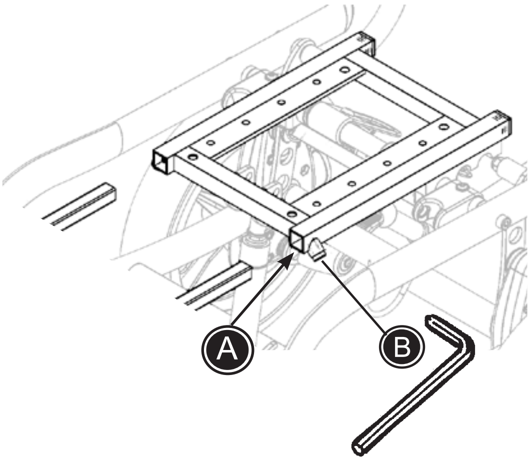
フットレストを踏み台として、ご使用にならないでください。

角度調節の際、手を挟まないよう注意してください。

R82

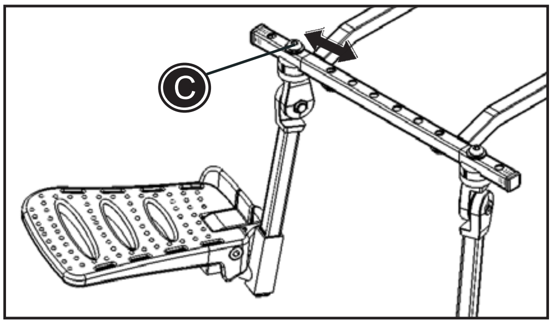
JP

＜X:PANDA用サンダル式フットレスト＞

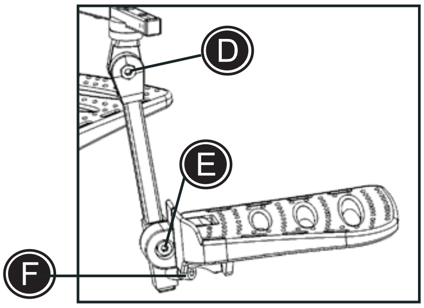


取付方法
5mmレンチにて、(B)ネジを緩め、アタッチメントの(A)差込口にフットレスト・バーを差込んだ後、再度(B)ネジを固定してください。

幅調節：
5mmレンチにて、調節用ネジ(C)を緩め、フットレストの幅調節を行ってください。



膝関節・足関節角度調節
5mmレンチにて、調節用ネジ(DまたはE)を緩め、各種角度調節を行ってください。



フットレスト高さ調節：
5mmレンチにて、調節用ネジ(F)を緩め、高さ調節を行ってください。

⚠ フットレストを踏み台として、ご使用にならないでください。

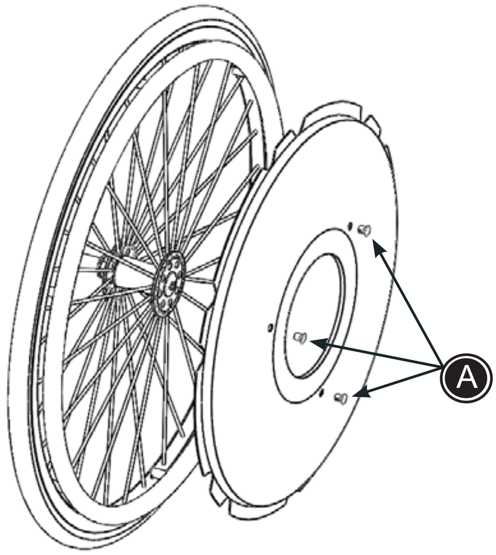
⚠ 各種角度調節の際、手を挟まないようご注意ください。

JP ＜スポーク･カバー＞

下記の手順にて、本製品にスポーク･カバーを取付けてください。

＊ スポークにスポーク･カバーの穴をあわせてください。

＊ スポーク･カバーの穴に付属のクリップを通し、固定してください。



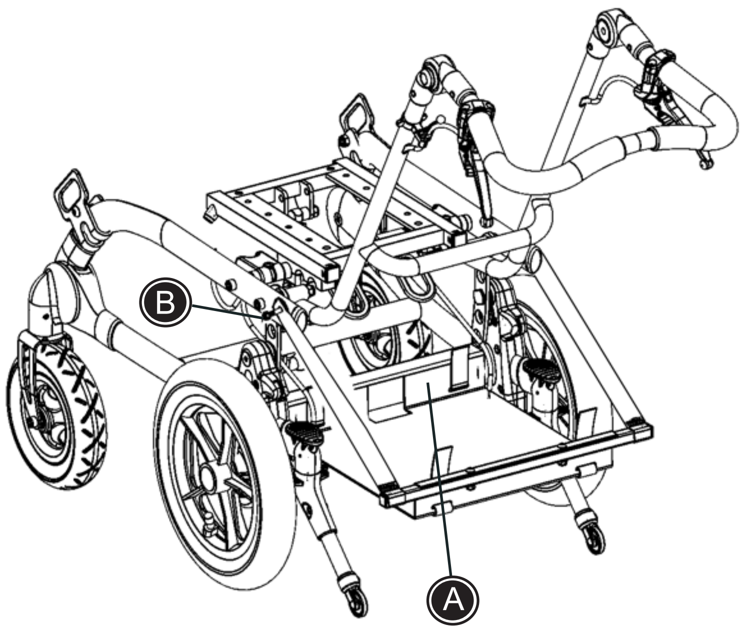
JP ＜荷物台＞

荷物台は、本製品のサイズ3に搭載が可能です。

＊ フレーム下部バー(A)に荷物台を取付けてください。

＊ 付属のストラップを(B)の位置でボルトで固定してください。(左右)

＊ 荷物台が水平な位置に保てるように、ストラップの長さを調節してください。尚、ストラップの取外しにより、荷物台の脱着を用意に行うことができます。



精密機器を搭載される場合は、付属のストラップでしっかり固定してください。

取付の際は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

JP ＜お車でのご移動＞

本製品は、ご利用者が車いすに乗った状態のまま、お車で移動することが認められています。その際は、前方に向いた状態でセットしてください。下記の点をお読みいただき、安全にご使用ください。

⚠ 特別仕様の椅子の場合は、適用されませんので、ご使用をお控えください。

⚠ できる限り、お子様は車両シート（またはカーシート）に乗車させ、シートベルトを装着した状態で移動されることをお薦めします。

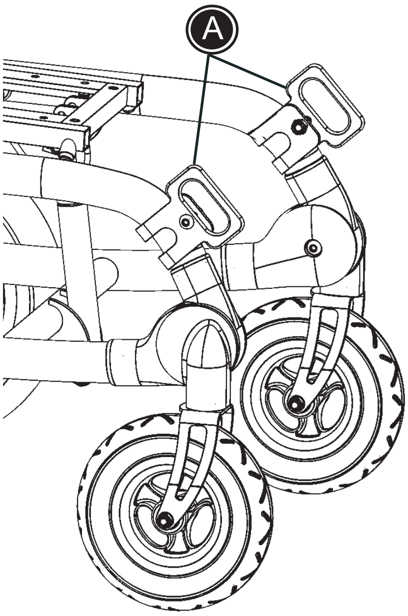
⚠ 本製品は下記の力学試験を受けております。

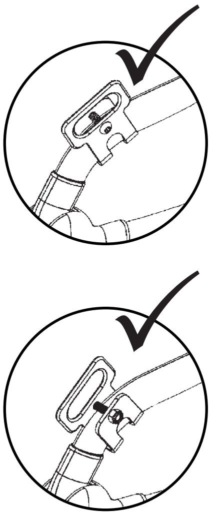
⚠ シートには、３点式ベルトをご使用ください。その際、ベルトの機能を妨げないために、アームレストや車輪等のアクセサリーに緩衝しないようにセッティングしてください。

⚠ 前輪を固定する際は、向きを合わせてください。

⚠ ご移動の車内では、アクセサリーを全て取外し、離して保管してください。取外しできないアクセサリーについては、緩衝材をはさみ、十分安全に注意してください。

⚠ お車に何らかの衝撃があった場合、次に車いすをお使いになる前に、必ず販売店の製品チェックを受けてください。



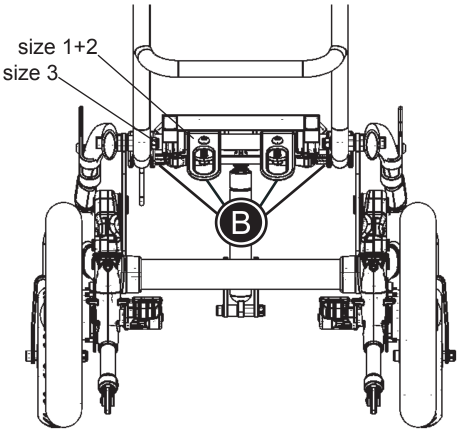


JP ＜車載用固定金具＞

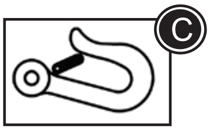
車載用固定金具取付方法

＊ フレーム前方の2箇所に(A)固定金具を取付けてください。

＊ フレーム後方の2箇所に(B)固定金具を取付けてください。尚、(A)及び、(B)の固定金具には(C)安全マークが記されております。



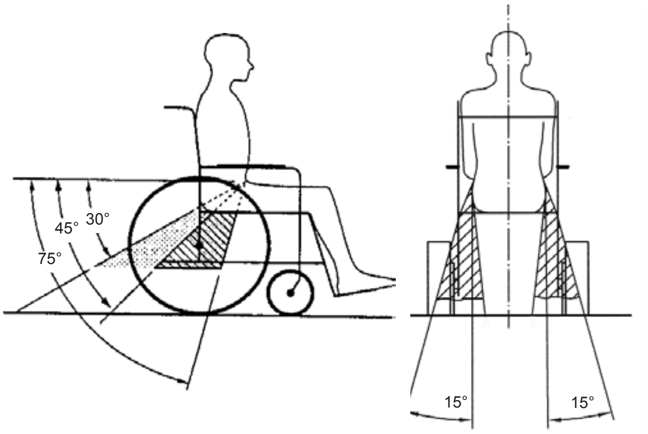
本製品は、ご利用者が車いすに乗った状態のまま、お車で移動することが認められています。但し、耐荷重内でのご使用をお守りください。(車載時耐荷重は、31ページご参照)



JP ＜お車での安全なご移動のために＞

＊ 車内では、4点式ストラップタイプ固定システムを取付けてください。

＊ 4点式ストラップタイプ固定システムを使い、本製品をしっかり固定してください。フック型または、固定金具に通すストラップをご使用ください。

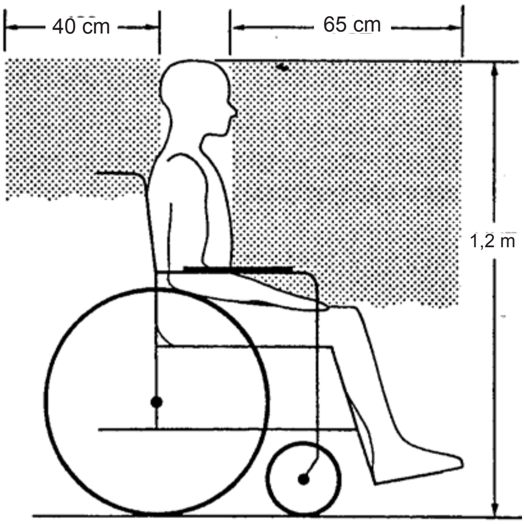


> ⚠ 4点式ストラップタイプ固定システムは、ISO10542-2 SAE J22249の認可を受けたものをご使用ください。

安全のために：

＊ 移動する前に、アクセサリーを全て取外し、離して保管してください。取外しできないアクセサリーについては、緩衝材をはさみ、十分安全に注意してください。

＊ ご利用者を前向きに座らせてください。



> ⚠ ご利用者が車いすにお乗りのまま移動される場合は、推奨された安全ゾーン(C)を確保してください。

JP ＜製品識別＞

A) シリアル番号

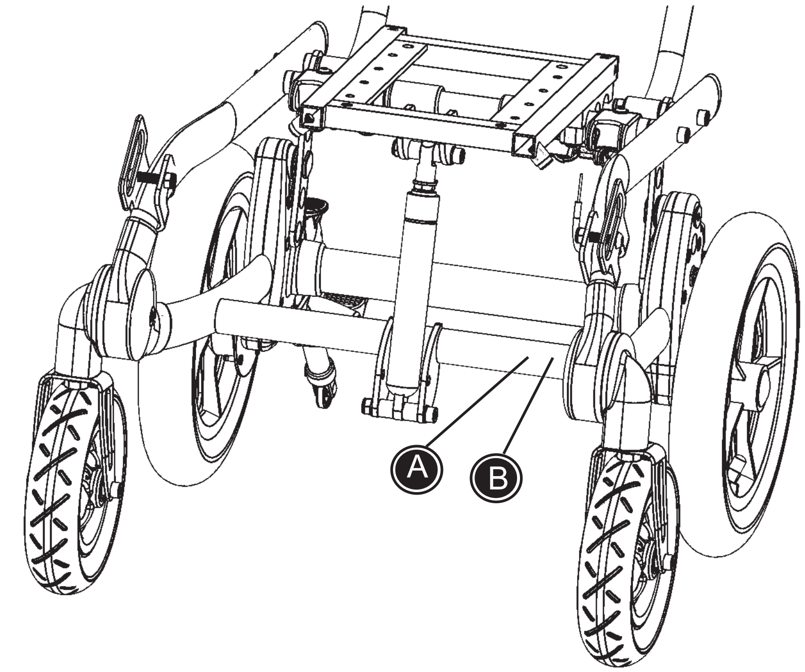
下図の位置に貼付されておりますのでご確認ください。

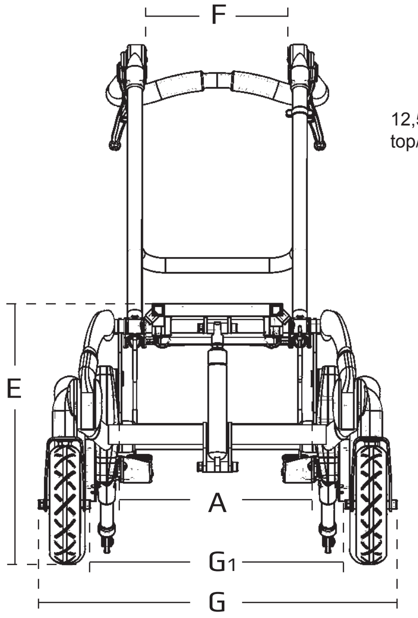
A

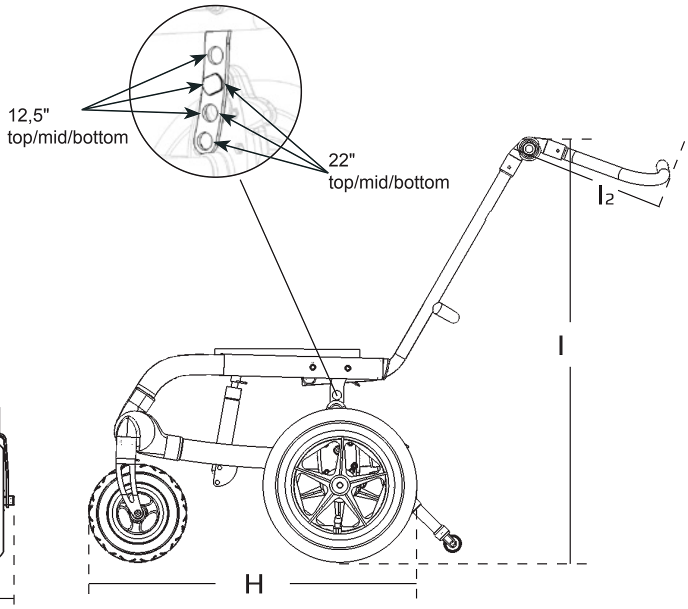
B) 製造元

下図の位置に貼付されておりますのでご確認ください。

B







JP

<寸法表>

	サイズ 1 cm (インチ)	サイズ 2 cm (インチ)	サイズ 3 cm (インチ)
Width, inside (A)	34 cm (13¼")	39 cm (15¼")	44 cm (17¼")
Height floor-basic plate (E) (top/mid/bottom position)	39½ / 42½ / 45½ cm (15½ / 16½ / 17¾")	39½ / 42½ / 45½ cm (15½ / 16½ / 17¾")	39½ / 42½ / 45½ cm (15½ / 16½ / 17¾")
Back width, inside (F)	24½ cm (9½")	29½ cm (11½")	34½ cm (13½")
Total width 12½" (G)	59 cm (23")	64 cm (25")	69 cm (27")
Total width 22" (G)	59 cm (23")	64 cm (25")	69 cm (27")
Distance between 22" wheels w/drum brakes G_1	43 cm (16¾)	48 cm (18¾")	53 cm (20½")
Distance between 22" wheels wo/drum brakes G_1	44 cm (17¼")	49 cm (19")	54 cm (21")
Length of frame 12½" (H)	64 cm (25")	64 cm (25")	69 cm (27")
Length of frame 22" (H)	75 cm (29¼")	75 cm (29¼")	80 cm (31¼")
Height push brace 15° (I)	91½ cm (35¾")	91½ cm (35¾")	91½ cm (35¾")
Height push brace 30° (I)	85 cm (33½")	85 cm (33½")	85 cm (33½")
Hand brace length (I_2)	22½ cm (8¾")	22½ cm (8¾")	22½ cm (8¾")
Seat angling	0-30° / 35° / 40°	0-30° / 35° / 40°	0-30° / 35° / 40°
Height folded, without back wheels (mid position)	40 cm (15½")	40 cm (15½")	40 cm (15½")
Height folded, with 12½" back wheel (mid position)	47 cm (18¼")	47 cm (18¼")	47 cm (18¼")
Height folded, with 22" back wheel (mid position)	56 cm (22")	56 cm (22")	56 cm (22")
Folded length, without back wheels	70 cm (27¼")	70 cm (27¼")	75 cm (29¼")
Folded length, with 12½"	73 cm (28½")	73 cm (28½")	78 cm (30½")
Folded length, with 22"	85 cm (33¼")	85 cm (33¼")	90 cm (35")
Max load (=user+seat+accessories)	100 kg (220 lb)	100 kg (220 lb)	100 kg (220 lb)
Max load for transportation (=user+seat+accessories)	100 kg (220 lb)	100 kg (220 lb)	100 kg (220 lb)
Weight (12½" air wheels+solid front wheels)	13 kg (28,6 lb)	13 kg (28,6 lb)	13 kg (28,6 lb)
Weight (22" air wheels+air front wheels)	14 kg (30,8 lb)	14 kg (30,8 lb)	14 kg (30,8 lb)

Further information regarding max. load/user weight and transportation:
www.R82.com/files/archive/Publications/Pdf/Chart_transport.pdf

R82

JP ＜テクニカルデーター＞

フレーム：　　　　　　　粉黛塗装　アルミニウム
プラスティック部品：　ABS樹脂

JP ＜製造元＞

R82 A/S
Parallelvej 3
8751 Gedved
Denmark

JP ＜販売店＞

Please find your distributor on www.R82.com

JP ＜点検・修理＞

車輪：
車輪軸： 車軸に泥やほこりが付着した場合は、しっかり汚れを取除いてください。
ボールベアリング： ボールベアリングはメンテナンスの必要はありません。
ハンドリム： ハンドリムが損傷している場合は、お取替えください。

> 22インチ： 定期的に空気圧の点検を実施してください。（推奨空気圧:55PSI/33,8bar/380kPa） 点検は、お買い求め頂きました販売店又は地元の自転車専門業者にご相談ください。
> 12インチ： 定期的の点検を実施してください。（推奨空気圧：35PSI/2,5 bar/240kPa）点検は、お買い求め頂きました販売店又は地元の自転車専門業者にご相談ください。

ブレーキ：
ブレーキの性能は、タイヤの空気圧に大きく影響されるため、必ず適切な空気圧を保つようにしてください。また、泥などが付着した状態のままだと、ブレーキに悪影響をおよぼすこともあります。ブレーキは少なくとも、月に一度は点検してください。より安全にご使用いただくために、車輪とブレーキの間は8-10mmあいているか、定期的にご確認ください。本製品を長期間ご使用にならない時は、タイヤにーブレーキ痕が残る可能性がありますのでブレーキは解除した状態で保管ください。ドラムブレーキ仕様の場合は、適切にブレーキが作動するようにワイヤーの張り調節を行い、ブレーキをかけた状態では、車輪が回らないことを確認してください。6ヶ月に一度は、お買い上げいただいた販売店にて点検を受けられることをお薦めします。

フレーム：
全てのネジに緩みがないか、定期的に点検してください。（特に調節等の実施後）。
また、快適に永くご使用いただくために、本製品をきれいに管理することをお薦めします。 掃除の際は、車用または食器用洗剤をご使用ください。 また、汚れがひどい場合は、油性の洗剤が効果的です。

> 雨、海水が付着した場合は、フレームの清掃をお薦めします。但し、塩素またはメタノール変性アルコールを含んでいる洗剤は使用しないでください。

点検：
全てのネジに緩みがないか、定期的に点検してください。少なくとも月に一度は、アクセサリーを固定するネジも含めて点検してください。ひび割れ、その他損傷箇所がないかご確認ください。

修理：
本製品ご使用の際、何か問題をお感じになられましたら、直ちにご使用を中止し、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。調整または修理が必要の際は、R82社純正部品をご使用ください。アクセサリーまたは部品は、故障した箇所のみをR82社に送り、修理することが可能です。本体製品に問題がある場合は、全てを修理のため、R82社へご返送ください。尚、修理に関しますご相談は、お買い上げいただきました販売店及び、日本輸入総代理店（テクノグリーン株式会社）がお伺いいたします。尚、R82社は、純正部品意外を使用した場合や、指定業者の修理に対する損害、怪我に対しては、責任を負いかねますことを、予めご了承ください。

ガス・スプリング
本製品はガス・スプリングを部品として使用しています。ガス・スプリングに傷をつけたり、高圧・高温の場所での保管は避けてください。また、ガス·スプリングからオイルが漏れた場合、故障の原因になる恐れがあるため、速やかに交換してください。

JP ＜お困りのときは＞

問題*：	解決法：
車いすがまっすぐ進まない。	ー タイヤの空気を補充してください。 ー フロントフォーク・アタッチメント角度をチェックしてください。 ー 調節用ネジが緩んでいないか確認してください。. ー フロントフォーク･アタッチメントが左右同じ高さであることを確認してください。 ー ご利用者の体重が一方にかかり過ぎていないか確認してください。 ー 直進させた際、一方に力がかかり過ぎていませんか？　タイヤの空気圧を確認してください。
車いすの操作が重く感じる。	ー タイヤの空気を補充してください。 ー キャスターの汚れを取除いてください。 ー 適切な重心位置であるか確認してください。（重心が前輪キャスターにかかる比重が高くなると、車いすの操作性は悪くなります。） ー ブレーキがかかっていないか確認してください。 ー 車輪に何か挟まっていないか確認してください。（挟まっている場合は取除いてください。）
車いすのとり回しが悪い。	ー タイヤの空気を補充してください。 ー フロントフォーク･アタッチメントを調節してください。 ー キャスターの汚れを取除いてください。 ー 適切な重心位置であるか確認してください。（重心が前輪キャスターにかかる比重が高くなると、車いすの操作性は悪くなります。）
ブレーキがきかない。	ー タイヤの空気を補充してください。 ー タックル･ブレーキと車輪の間の距離を調節してください。 ー タックル･ブレーキ（輪留め）が磨耗している場合は、交換してください。 ー ドラムブレーキのブレーキ･ワイヤーの張りを調節してください。 ー ドラムブレーキのブレーキ･ワイヤーが曲がっていないか確認してください。 ー ドラムブレーキのハブが汚れていないか確認してください。
後輪がぐらつく。	ー 車軸のワッシャーの位置・緩みを確認してください。 ー 車軸の長さを確認してください。
後輪の取外しがやりづらい。	ー クイック･リリース軸の汚れをとり、油をさしてください。 ー 車軸の長さを調節してください。
前輪キャスターがぐらつく。	ー フロント･フォークがしっかり締まっているか確認してください。 ー フロントフォーク･アタッチメントが左右同じ高さであることを確認してください。 ー フロントフォーク･アタッチメント角度を確認してください。 ー 適切な重心位置であるか確認してください。（重心が前輪キャスターにかかる比重が高くなると、車いすの操作性は悪くなります。） ー Please see the section "Wheels" for adjustment of fron wheels
車いすがスムースに動かない。	ー タイヤの空気圧を補充してください。 ー 全てのネジ・ナット・ボルトがしっかり締まっているか確認してください。

＊誤った調節や、ご使用方法により、上記の問題が発生する場合があります。